

「AI・DXで未来を拓く中小企業最前線」 ～地域企業3社が語る実践事例と挑戦～

AI・DXは、社内の業務効率化だけでなく、製品・サービスへの実装によって新たな価値を生み出す時代に入りました。本講座では、久留米市内でAI・DX活用に取り組む3社にご登壇いただき、
①設計・製造部門、管理部門での社内活用 ②製品、サービス、ソフトウェアへの実装
という2つの視点から、実践事例と挑戦をご紹介します。宇宙事業、スマート化農業(AIロボット)、システム開発(生成AI LLM+RAG)と異なる切り口から「AI・DXの今」を体感できる一日です。

■開催日程：2026年11月11日(水) 13:30 ~ 16:30 ※開場: 13:00~

■講演内容

- (1) 創立50周年！新たなステージへ、宇宙事業への挑戦**
～オーダーメイド搬送システムで培った高い技術力を活かし、人工衛星・宇宙事業へ挑戦～
オガワ機工株式会社 取締役副社長 伊藤 慎二 氏
- (2) AI・ロボットが切り拓くスマート農業**
～AIを活用した自動収穫ロボットとAI開発を見越した営農アプリを開発～
株式会社 アイナックシステム 取締役 高田 樹彦 氏
- (3) 生成AIが変えるシステム開発**
～ローカルLLM・RAG環境を活用したAI駆動システム開発～
久留米情報システム株式会社 ビジネスソリューション部 主任 石野 和也 氏



■開催場所：久留米ビジネスプラザ 1F 会議室C
(住所) 久留米市宮ノ陣4丁目29番11号

■定員：70名様 ■参加料：無料

■対象者：「DXに取り組むたいが何から始めればよいかわからない」、「AIを経営にどう活かせるのか知りたい」そんな企業の皆様に、実践的なヒントと新たな気づきをお届けします。

■申し込み：以下のURL、QRコードからお申込みフォームへお進みください。

<https://forms.gle/KXdHMWRx5Sweptnc8>

■申込締切日：2026年11月6日(金)



■会場へのアクセス、駐車場



主催：株式会社 久留米ビジネスプラザ(KBP)

(1) 創立50周年！ 新たなステージへ、宇宙事業への挑戦

～オーダーメイド搬送システムで培った高い技術力を活かし、人工衛星・宇宙事業へ挑戦～

オガワ機工株式会社 取締役副社長 伊藤 慎二 氏

【会社概要】 当社は、本年(2026年)5月に創立50周年を迎えました。これまで、ベルトコンベヤやリフターなどの物流省力化装置をはじめ、**さまざまな自動化設備の設計・製作に取り組んできました**。その中で、精度や強度、安全性を追求し、ものづくりの技術を積み重ねてきました。**これまでの日々の蓄積が、宇宙分野へ挑戦する土台となりました**。

【人工衛星、宇宙事業に取り組んだ経緯】 当社が宇宙事業への挑戦を始めたのは、2010年頃です。久留米・筑後地域の企業とともに、宇宙分野への可能性を模索してきました。当初はなかなか具体的な成果にはつながりませんでしたが、活動が続ける中で**株式会社QPS研究所とのご縁**をいただき、**小型SAR衛星QPS-SARという人工衛星事業に関わらせてもらうこと**で、ようやく志を具体的な結果で示せるようになってきました。

【人工衛星、宇宙事業の取り組み内容】

弊社のQPS-SARでの役割は、**機械設計と組立**です。上手く行かないことが何度も何度も起こりますが、**多くのパートナー企業が垣根を越えて一つのチームとなり、それぞれの技術を持ち寄って課題を乗り越えています**。誰もが皆、高い熱量で仕事を進めていく。このような中に身を置けること、これは何物にも代えがたいやりがいです。

志は「九州に宇宙産業を根付かせる」



「画像提供: iQPS」

(2) AI・ロボットが切り拓くスマート農業

～AIを活用した自動収穫ロボットとAI開発を見越した営農アプリを開発～

株式会社 アイナックシステム 取締役 高田 樹彦 氏

【会社概要】 工場と農業を自動化する会社です。**コア技術は「制御技術」**。常に先端技術が必要とされる半導体製造装置の制御設計を主事業として2008年に創業。創業以来、半導体製造装置や物流倉庫、食品工場など幅広い分野で自動化に関わってきました。

【AIによるイチゴ収穫ロボットやスマート農業に取り組んだ経緯】

今から約20年後には、日本の農業従事者は75%減少すると言われています。そして、平均年齢は約70歳。

人手不足や後継者不足、高齢化など、国産の作物を食べられなくなる時代が近づいてきました。

当社代表の稲員はイチゴ・ぶどう農家の次男坊です。家業の農作業と、**日本の状況を現場で見えてきました。何とかしたいという思いで取り組んでいます**。

【AIによるイチゴ収穫ロボットやスマート農業の取り組み内容】

日本で唯一販売しているAIイチゴ自動収穫ロボット『ロボつみ』。AIでイチゴを発見し、**熟度判定**をしています。現在は、イチゴだけではなく、**国家プロジェクトで万願寺とうがらしの自動収穫ロボットも開発中**。別の国家プロジェクトで開発した作物特化型の営農管理アプリ『AguRo-base』では、今後、集めたデータ等を元に**AIエージェントの開発や、あらゆる機器と繋がり制御する「AI駆動型農業」を目指しています**。



(3) 生成AIが変えるシステム開発

～ローカルLLM・RAG環境を活用したAI駆動システム開発～

久留米情報システム株式会社 ビジネスソリューション部 石野 和也 氏

【会社概要】 久留米運送株式会社の情報処理部門を分社化して1985年6月に設立しました。弊社の強みは、

①**地域密着型**で、お客様のコンピュータシステムの企画からシステム構築・運用・保守・セキュリティ対策まで**ワンストップでサービス提供**

②**筑後地区でデータセンターサービスを提供**。地元企業を中心にホスティングサービスとハウジングサービスがクラウド環境で稼働中。弊社**スタッフが24時間365日運用監視**

【AI駆動システム開発に取り組んだ経緯】

生成AIの実用化とエンジニア不足を背景に、多くのシステム開発会社が**「AIを使わないこと自体がコスト」との危機感からAI駆動開発に着手しています**。

目的は主に、コーディング等の定型業務をAIに任せて**開発リードタイムを短縮し、人材を高付加価値業務に集中させる生産性向上、担当者の経験差を埋める品質・アウトプットの均一化、バグ早期発見や保守コスト削減、そして削減工数を定量化させることです**。

【AI駆動システム開発の取り組み内容】 当社では2026年より、コーディング支援、テスト作成、ドキュメント作成、要件定義、コードレビューといった**開発工程全般でClaude Codeを活用したAI駆動開発に着手しています**。まずは一部チームでの試験導入から開始し、**効果を検証しながら段階的に適用範囲を拡大していく方針**です。あわせて、AIに読み込ませる社内資料の取り扱いなど、情報セキュリティ面の課題にも取り組んでいます。

